

## 注 意 事 項

1. 試験問題の数は80問で解答時間は正味1時間20分である。
2. 試験問題の持帰りを認めない。
3. 解答方法は次のとおりである。
  - (1) 各問題にはaからeまでの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) 101 県庁所在地はどれか。

- a 栃木市
- b 川崎市
- c 神戸市
- d 倉敷市
- e 別府市

正解は「c」であるから答案用紙の

101  a  b  c  d  e のうち  c をマークして

101  a  b  c  d  e とすればよい。

- (2) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。
 

良い解答の例……  (濃くマークすること。)

悪い解答の例……   (解答したことにならない。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

1 前置胎盤で誤っているのはどれか。

- a 多産婦に多い。
- b 癒着胎盤が多い。
- c 無痛性出血をみる。
- d 妊娠 15 週で診断できる。
- e 人工妊娠中絶術の既往は危険因子である。

2 羊水過少症の原因とならないのはどれか。

- a 妊娠中毒症
- b 妊娠糖尿病
- c 前期破水
- d 子宮内発育遅延
- e 胎児尿路奇形

3 組合せで誤っているのはどれか。

- (1) HELLP 症候群 ———— 血清 ALT 高値
- (2) Rh 不適合妊娠 ———— 胎児水腫
- (3) 二卵性双胎 ———— 一絨毛膜性
- (4) 新生児仮死 ———— BPS (biophysical profile score)
- (5) 早産予知 ———— 頸管長

- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

4 X染色体異常を示すのはどれか。

- a Down 症候群
- b 猫鳴き症候群
- c Turner 症候群
- d Prader-Willi 症候群
- e 先天性副腎皮質過形成症

5 Potter 症候群で見られるのはどれか。

- a 羊水過多
- b 前頭部突出
- c 四肢短縮
- d 肺低形成
- e 水腎症

6 気分障害よりも統合失調症を示唆するのはどれか。

- a 易刺激性
- b 考想伝播
- c 強迫症状
- d 罪業妄想
- e 明識困難

7 解離性(転換性)障害の症状として誤っているのはどれか。

- a 健忘
- b 失神
- c 離人症
- d けいれん
- e 多重人格

8 Asperger 症候群で誤っているのはどれか。

- a 男児に多い。
- b 言語発達は正常である。
- c 奇妙な動作がある。
- d 広汎性発達障害に分類される。
- e 対人関係の質的な障害がある。

9 小児自閉症で見られるのはどれか。

- a 新しい環境を好む。
- b オウム返しに話す。
- c 想像上の遊びをする。
- d 身振りで意思を伝える。
- e 同年代の子供に関心がある。

10 Köbner 現象を示すのはどれか。

- (1) Bowen 病
- (2) 扁平苔癬
- (3) 尋常性乾癬
- (4) 菌状息肉症
- (5) 尋常性狼瘡

a (1)、(2)    b (1)、(5)    c (2)、(3)    d (3)、(4)    e (4)、(5)

11 仮性同色表(色覚検査表)の目的はどれか。

- a スクリーニング
- b 確定診断
- c 程度判定
- d 職業適性
- e 視覚障害認定

12 人間ドックで撮影された右眼底写真(別冊No. 1A)と左眼底写真(別冊No. 1B)とを別に示す。

この患者の確定診断に必要な検査はどれか。

- a 末梢血液像
- b 血小板機能
- c 血糖
- d 肝機能
- e 腫瘍マーカー

別冊  
No. 1 写真A、B

13 真珠腫性中耳炎でみられないのはどれか。

- a 鼓膜穿孔
- b 耳漏
- c めまい
- d 舌咽神経痛
- e 混合性難聴

14 声帯ポリープについて正しいのはどれか。

- a 痛みを伴う。
- b 声帯運動が障害される。
- c 好発部位は声帯後方である。
- d 前癌病変である。
- e 発声指導を行う。

15 頸部リンパ節腫脹をきたしやすいのはどれか。

- a 滲出性中耳炎
- b アレルギー性鼻炎
- c アフタ性口内炎
- d ヘルパンギーナ
- e 川崎病

16 専門施設へ緊急搬送するのはどれか。

- (1) 小児の体幹背面と右上肢の深達性Ⅱ度熱傷
- (2) 気道熱傷の疑いのある顔面の浅達性Ⅱ度熱傷
- (3) 右下腿屈側のⅢ度熱傷
- (4) 両側上腕の浅達性Ⅱ度熱傷
- (5) 全身の50%の sun burn

a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

17 術後肺合併症の予防に有用なのはどれか。

- (1) 鎮 静
- (2) 長期臥床
- (3) 四肢マッサージ
- (4) 体位変換
- (5) 気道内吸引

a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

18 嚥下性肺炎の原因となるのはどれか。

- (1) 大腸菌
- (2) 嫌気性菌
- (3) アスペルギルス
- (4) サイトメガロウイルス
- (5) ニューモシスチス・カリニ

a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

19 アスピリン喘息について正しいのはどれか。

- (1) 男性に多い。
- (2) 季節性がある。
- (3) 鼻茸の合併が多い。
- (4) 非アトピー性が多い。
- (5) ピリンアレルギーである。

a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

20 サルコイドーシスで副腎皮質ステロイド薬の全身投与が適応でないのはどれか。

- a 房室ブロック
- b 顔面神経麻痺
- c 高カルシウム血症
- d 肺門リンパ節腫脹
- e 活動性ぶどう膜炎

21 乳腺腫瘍について正しいのはどれか。

- a 乳房に腫瘤を触知した際にはまず胸部単純 CT を行う。
- b 乳腺症は高頻度に悪性化する。
- c 線維腺腫は乳癌に比べ若年で発生する。
- d 葉状腫瘍の大半は悪性である。
- e 我が国の乳癌死亡者数は減少傾向にある。

22 肺血栓塞栓症の危険因子でないのはどれか。

- a 肥満
- b 外科手術
- c 早期離床
- d 経口避妊薬
- e 中心静脈カテーテル留置

23 心電図(別冊No. 2A)と心エコー図(別冊No. 2B)とを別に示す。

診断はどれか。

- a Fallot 四徴症
- b 肺動脈閉鎖症
- c 三尖弁閉鎖症
- d 完全大血管転位症
- e 心内膜床欠損症(房室中隔欠損症)

別冊  
No. 2 図A、写真B

24 左室肥大をきたすのはどれか。

- a 心房中隔欠損症
- b Eisenmenger 症候群
- c 肺動脈狭窄症
- d 三尖弁閉鎖症
- e Ebstein 奇形

25 心原性脳塞栓症を起こす頻度が最も高いのはどれか。

- a 僧帽弁閉鎖不全症
- b 僧帽弁狭窄症
- c 大動脈弁閉鎖不全症
- d 大動脈弁狭窄症
- e 三尖弁閉鎖不全症

26 心エコー図(別冊No. 3A、B)を別に示す。

この疾患で見られるのはどれか。

- a 連続性雑音
- b 心膜摩擦音
- c opening snap
- d to and fro 雑音
- e II音の奇異性分裂

別冊  
No. 3 図A、B

27 冠動脈バイパス術の適応でないのはどれか。

- a 不安定狭心症
- b 冠動脈攣縮性狭心症(異型狭心症)
- c 左冠動脈主幹部の75%狭窄
- d PTCA後の再狭窄
- e 冠動脈三枝病変

28 心タンポナーデの原因とならないのはどれか。

- a 心臓外傷
- b 大動脈解離
- c 不安定狭心症
- d 心筋梗塞
- e 心膜炎

29 逆流性食道炎の治療に最も有用なのはどれか。

- a 抗コリン薬
- b 非ステロイド性抗炎症薬
- c プロトンポンプ阻害薬
- d *Helicobacter pylori* 除菌治療
- e 迷走神経切断術

30 組合せで正しいのはどれか。

- a 先天性食道閉鎖 Gross C ——— 胃内ガスの減少
- b 肥厚性幽門狭窄症 ——— 胆汁性嘔吐
- c 先天性十二指腸閉鎖 ——— double bubble sign
- d 腸重積症 ——— 灰白色便
- e Hirschsprung 病 ——— 噴水状嘔吐

31 7 か月乳児の下血の原因として考えられるのはどれか。

- a 仮性メレナ
- b Meckel 憩室
- c 血管性紫斑病
- d Hirschsprung 病
- e ビタミンK 欠乏症

32 潰瘍性大腸炎で正しいのはどれか。

- (1) 大腸癌発生のリスクは低い。
  - (2) 腸管外合併症として原発性硬化性胆管炎がある。
  - (3) 下痢の回数は重症度判定に重要である。
  - (4) 肛門病変の合併が多い。
  - (5) 手術適応の多くは腸管狭窄である。
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

33 肛門(管)癌で誤っているのはどれか。

- a 痔瘻に合併する。
- b 扁平上皮癌も発生する。
- c 腸閉塞を起こしやすい。
- d 排便時に疼痛がみられる。
- e 鼠径リンパ節転移がみられる。

- 34 原発性胆汁性肝硬変の特徴はどれか。
- a 好発年齢は 30 歳代である。
  - b 血清 IgM が高値である。
  - c 抗平滑筋抗体が高率に陽性である。
  - d HLA-DR 4 が高頻度に陽性である。
  - e 胆管細胞癌の合併が多い。

- 35 胆嚢癌の発生と関連するのはどれか。

- (1) 原発性硬化性胆管炎
- (2) 胆嚢腺筋腫症
- (3) 胆嚢結石症
- (4) 膵・胆管合流異常症
- (5) 膵石症

a (1)、(2)    b (1)、(5)    c (2)、(3)    d (3)、(4)    e (4)、(5)

- 36 嚢胞性膵疾患で正しいのはどれか。

- a 仮性嚢胞壁は上皮を有しない。
- b 粘液性嚢胞腫瘍は男性に多い。
- c 粘液性嚢胞腫瘍は膵頭部に多い。
- d 貯留性嚢胞内のアミラーゼ値は低い。
- e 漿液性嚢胞腫瘍は癌化しやすい。

- 37 自己免疫性溶血性貧血にみられる赤血球形態所見はどれか。

- (1) 破碎赤血球
- (2) 標的赤血球
- (3) 赤血球凝集
- (4) 小球状赤血球
- (5) 低色素性赤血球

a (1)、(2)    b (1)、(5)    c (2)、(3)    d (3)、(4)    e (4)、(5)

- 38 小児急性リンパ性白血病の再発部位で多いのはどれか。

- a 中枢神経
- b 皮膚
- c 肝臓
- d 腸間膜リンパ節
- e 骨

- 39 慢性骨髄性白血病の慢性期の第一選択薬はどれか。

- a 代謝拮抗薬
- b アルキル化薬
- c インターフェロン $\alpha$
- d チロシンキナーゼ阻害薬
- e 全トランス型レチノイン酸



40 播種性血管内凝固症候群(DIC)にみられるのはどれか。

- (1) 血小板減少
  - (2) 血清 FDP 低値
  - (3) 血小板粘着能低下
  - (4) 血漿フィブリノゲン減少
  - (5) トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)高値
- a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

41 組合せで正しいのはどれか。

- (1) Alport 症候群 ————— 関節炎合併
  - (2) 急速進行性糸球体腎炎 ——— 半月体形成
  - (3) 巣状糸球体硬化症 ————— ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群
  - (4) 紫斑病性腎炎 ————— 血小板減少
  - (5) 溶血性尿毒症症候群 ————— 異型リンパ球増加
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

42 IgA 腎症の予後に影響するのはどれか。

- (1) 血尿
  - (2) 血圧
  - (3) 尿蛋白量
  - (4) 血清 IgA 値
  - (5) 血清補体価
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

43 血清クレアチニン 7.0 mg/dl の患者で、急性腎不全と慢性腎不全との鑑別に有用なのはどれか。

- a クレアチニンクリアランス
- b パラアミノ馬尿酸(PAH)クリアランス
- c レノグラフィ
- d 腹部超音波検査
- e 腹部造影 CT

44 長期血液透析患者の合併症でないのはどれか。

- a 不均衡症候群
- b 動脈硬化症
- c 続発性副甲状腺機能亢進症
- d 腎性骨異常栄養症
- e 透析アミロイドーシス

45 尿路結石症について正しいのはどれか。

- (1) 無症候性肉眼的血尿を認めることが多い。
  - (2) 夏季に発症することが多い。
  - (3) 腹部 CT は診断に有用である。
  - (4) 上部尿路より下部尿路に多い。
  - (5) 尿酸結石が 70 % 以上を占める。
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)    d (3), (4)    e (4), (5)

46 子宮内膜症に特徴的なのはどれか。

- (1) 不妊症
- (2) 性交痛
- (3) 過多月経
- (4) 不正性器出血
- (5) 月経困難症

- a (1), (2), (3)
- b (1), (2), (5)
- c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4)
- e (3), (4), (5)

47 卵巣腫瘍で男性化徴候をきたすのはどれか。

- a 明細胞腺癌
- b 顆粒膜細胞腫
- c Sertoli・間質細胞腫瘍
- d 成熟嚢胞性奇形腫
- e 未分化胚細胞腫

48 閉経後に頻度が上昇しないのはどれか。

- a 高脂血症
- b 骨粗鬆症
- c 子宮体癌
- d 腹圧性尿失禁
- e 子宮頸部上皮内癌

49 勃起不全をきたさないのはどれか。

- a 精巣機能不全
- b 骨盤神経損傷
- c 糖尿病
- d エストロゲン薬
- e 片側精巣摘除

50 持続勃起症で誤っているのはどれか。

- a 原因は白血病が多い。
- b 疼痛を伴うことが多い。
- c 排尿困難を伴うことが多い。
- d 勃起不全になることが多い。
- e 陰茎、尿道海綿体吻合術が有効である。

51 小児に好発する脳腫瘍はどれか。

- a 膠芽腫
- b 髓芽腫
- c 髄膜腫
- d 血管芽腫
- e 下垂体腺腫

52 上行性の両下肢運動麻痺をきたすのはどれか。

- a Reye 症候群
- b 多発性硬化症
- c 急性小脳失調症
- d Guillain-Barré 症候群
- e 亜急性硬化性全脳炎 (SSPE)

53 片頭痛で正しいのはどれか。

- (1) 日常生活に支障をきたす。
  - (2) 発作は 1 週間程度持続する。
  - (3) 脳波検査で異常発作波が出現する。
  - (4) 発作は音過敏や光過敏を伴う。
  - (5) 発作急性期にはセロトニン受容体刺激薬が有効である。
- a (1)、(2)、(3)      b (1)、(2)、(5)      c (1)、(4)、(5)  
d (2)、(3)、(4)      e (3)、(4)、(5)

54 組合せで誤っているのはどれか。

- a 頸椎椎間板ヘルニア —— 間欠性跛行
- b 頸椎後縦靭帯骨化症 —— 膝蓋腱反射の亢進
- c 強直性脊椎炎 —— 腰椎可動域の低下
- d 腰椎椎間板ヘルニア —— アキレス腱反射の減弱
- e 腰部脊柱管狭窄症 —— 下肢や陰部のしびれ

55 偽痛風の関節内にみられる結晶はどれか。

- a リン酸カルシウム
- b ピロリン酸カルシウム
- c 炭酸カルシウム
- d 尿酸カルシウム
- e 疹酸カルシウム

56 頭部外傷直後の成人患者で、意識は清明だが頭部エックス線単純写真で側頭骨に線状骨折を認める場合、最も注意すべき病態はどれか。

- a 脳内出血
- b 髄液鼻漏
- c 硬膜外出血
- d 硬膜下出血
- e 内頸動脈海綿静脈洞瘻

57 Creutzfeldt-Jakob 病について正しいのはどれか。

- a 患者の診察では手袋を着用しなければならない。
- b 患者に使用した器具は廃棄しなければならない。
- c 1 時間の煮沸では病原体の感染性を除去できない。
- d 患者は隔離しなければならない。
- e 原因として医原性が最も多い。

58 SIADH で高値となるのはどれか。

- a 血清尿酸
- b 血清尿素窒素
- c 血清ナトリウム
- d 血漿レニン活性
- e 尿浸透圧

59 新生児期のクレチン症で見られるのはどれか。

- a 不活発
- b 肥満
- c 眼球陥凹
- d 下痢
- e 多尿

60 Cushing 病と副腎腺腫による Cushing 症候群との鑑別に有用でないのはどれか。

- a CRH 試験
- b ACTH 試験
- c 血中 DHEAS 濃度測定
- d 尿中 17-KS 排泄量測定
- e 大量デキサメサゾン抑制試験

61 疾患と最初に投与すべき薬物の組合せで正しいのはどれか。

- a 汎下垂体機能低下症 ———— 甲状腺ホルモン
- b 褐色細胞腫 ————  $\beta$  遮断薬
- c 心因性多飲症 ———— バソプレシン
- d 特発性アルドステロン症 ———— スピロノラクトン
- e 1 型糖尿病 ———— スルホニルウレア

62 Addison 病で見られるのはどれか。

- a 浮腫
- b 皮膚線条
- c 色素沈着
- d 高血圧
- e 糖尿病

63 Turner 症候群について正しいのはどれか。

- a 高齢出産の児に多い。
- b 出生時に筋緊張低下を示す。
- c 中手骨の短縮を認める。
- d 低ゴナドトロピン性性腺機能低下症を示す。
- e 低身長に対して成長ホルモンは無効である。

- 64 経口糖尿病薬と主な作用の組合せで誤っているのはどれか。
- a スルホニルウレア薬 ————— インスリン分泌促進
  - b ビグアナイド薬 ————— 肝の糖産生抑制
  - c  $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬 ————— 糖質吸収抑制
  - d チアゾリジン薬 ————— インスリン抵抗性改善
  - e フェニルアラニン誘導体 ————— インスリン作用増強

- 65 代謝性アシドーシスを伴う低カリウム血症をきたすのはどれか。
- a 神経性食思不振症
  - b 原発性アルドステロン症
  - c Bartter 症候群
  - d Addison 病
  - e Sjögren 症候群

- 66 食物アレルギーによる蕁麻疹の原因検索に最も有用なのはどれか。
- a 皮膚反応
  - b 食物除去試験
  - c 特異的 IgE 測定
  - d リンパ球刺激試験
  - e ヒスタミン遊離試験

- 67 卵アレルギーを有する者が要注意となっているワクチンはどれか。
- a 水痘
  - b 風疹
  - c 日本脳炎
  - d 三種混合 (DPT)
  - e インフルエンザ

- 68 強皮症患者の生命予後を悪化させるのはどれか。
- (1) 皮膚病変
  - (2) 関節病変
  - (3) 肺病変
  - (4) 腎病変
  - (5) 消化管病変
- a (1)、(2)    b (1)、(5)    c (2)、(3)    d (3)、(4)    e (4)、(5)

- 69 細胞性免疫が低下しないのはどれか。
- a 無ガンマグロブリン血症
  - b DiGeorge 症候群
  - c 重症複合免疫不全
  - d Wiskott-Aldrich 症候群
  - e 毛細血管拡張性失調症

70 易感染性宿主 (compromised host) における間質性肺炎の原因として頻度が高いのはどれか。

- a EBウイルス
- b アデノウイルス
- c サイトメガロウイルス
- d 単純ヘルペスウイルス
- e ヒト免疫不全ウイルス

71 肝炎ウイルスについて誤っているのはどれか。

- a A型ウイルス血症は一過性である。
- b A型にはワクチンがある。
- c B型は血液を介して感染する。
- d C型は肝癌の原因になる。
- e C型のキャリアの率はどの年齢層でも同じである。

72 クラミジア感染が原因とならないのはどれか。

- a 肝周囲炎
- b 虫垂炎
- c 卵管炎
- d 非淋菌性尿道炎
- e 新生児膿漏眼

73 組合せで誤っているのはどれか。

- a 緑膿菌 ————— 筋膜の広範壊死
- b 破傷風菌 ————— 開口障害
- c ガス壊疽菌 ————— 悪臭
- d 結核菌 ————— 冷膿瘍
- e 梅毒スピロヘータ ——— 関節破壊

74 結核病棟への隔離を必要とするのはどれか。

- a ツベルクリン反応陽性
- b 喀痰の結核菌塗抹陽性
- c 骨髄の結核菌培養陽性
- d 胸膜生検で乾酪性肉芽腫
- e 気管支鏡で結核菌のPCR法陽性

75 致死的な肺炎を起こす日和見感染の原因はどれか。

- a ニューモシスチス・カリニ
- b トキソプラズマ
- c アデノウイルス
- d レプトスピラ
- e クラミジア

76 我が国の食中毒について正しいのはどれか。

- a 原因施設の第一位は家庭である。
- b 原因物質の第一位はウイルスである。
- c 90%以上の事例で原因食品が判明している。
- d 自然毒食中毒は化学性食中毒よりも発生件数が多い。
- e 腸管出血性大腸菌 O157 による患者数はここ数年一定している。

77 誤っているのはどれか。

- a 喫煙は脳卒中の危険因子である。
- b 粒子状物質は主流煙より副流煙に多い。
- c 我が国の女性の喫煙率は増加傾向にある。
- d 喫煙者は喫煙の健康影響の知識が欠如している。
- e 健康増進法ではレストランでの分煙対策を義務付けている。

78 組合せで誤っているのはどれか。

- a 四塩化炭素 ————— 肝硬変
- b メタノール ————— 視神経炎
- c ベンゼン ————— 造血機能障害
- d トルエン ————— 末梢循環障害
- e トリクロロエチレン ———— 多発性神経炎

79 騒音性難聴で正しいのはどれか。

- a 伝音系聴力障害である。
- b 聴力低下は不可逆性である。
- c 中耳の機械的損傷で発症する。
- d 低音域聴力障害からはじまる。
- e 会話音域の障害は発生しない。

80 我が国の不慮の事故による死亡で最も多いのはどれか。

- a 中毒
- b 窒息
- c 交通事故
- d 転倒・転落
- e 溺死及び溺水

◎ 下記の欄に受験番号および氏名を記入すること。

受 験 番 号	氏 名 (楷 書 で 書 く こ と)